

まんが 子ども太平洋戦争物語

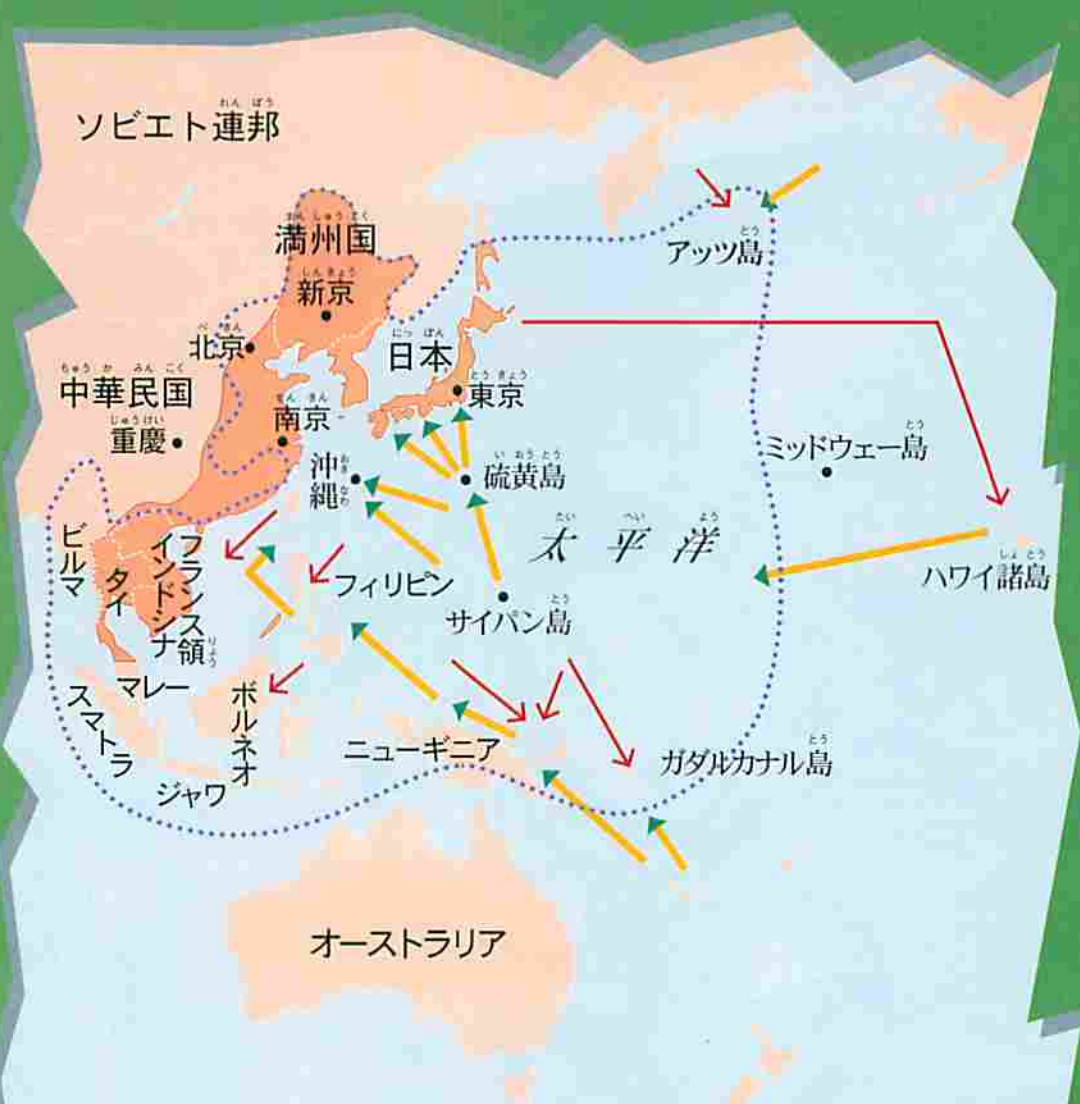
# 空が焼けた



西・守谷哲己



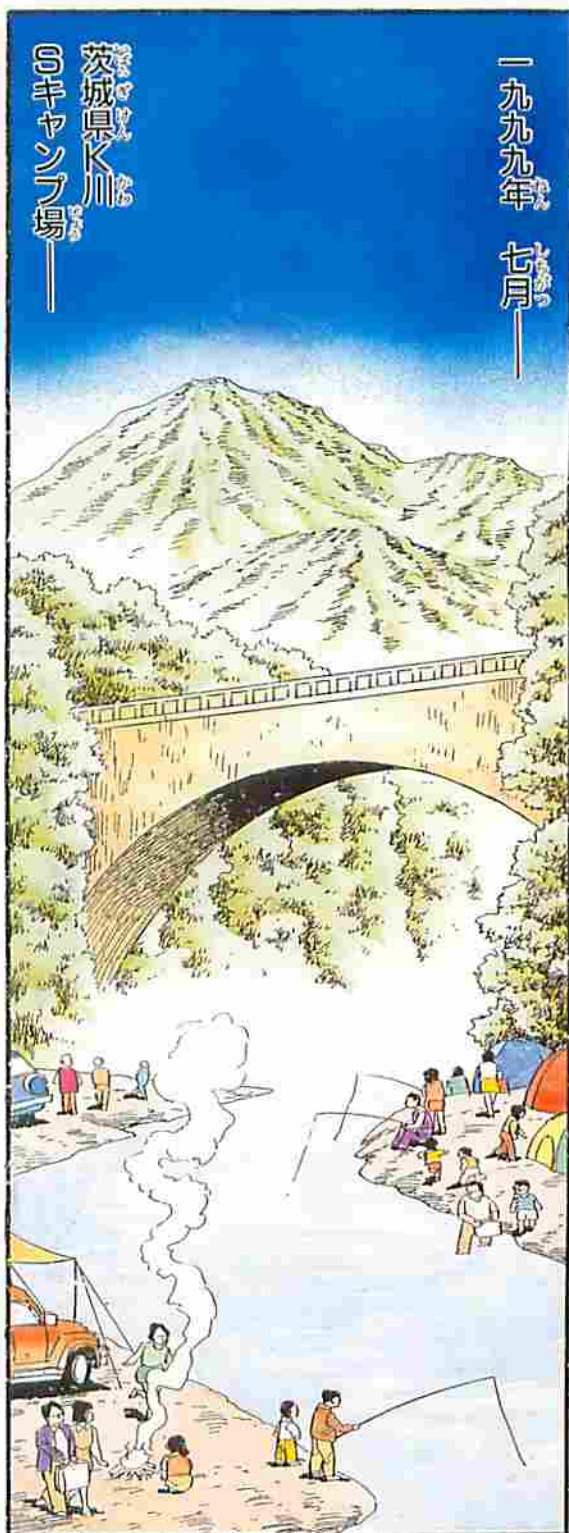
# 太平洋戦争地図



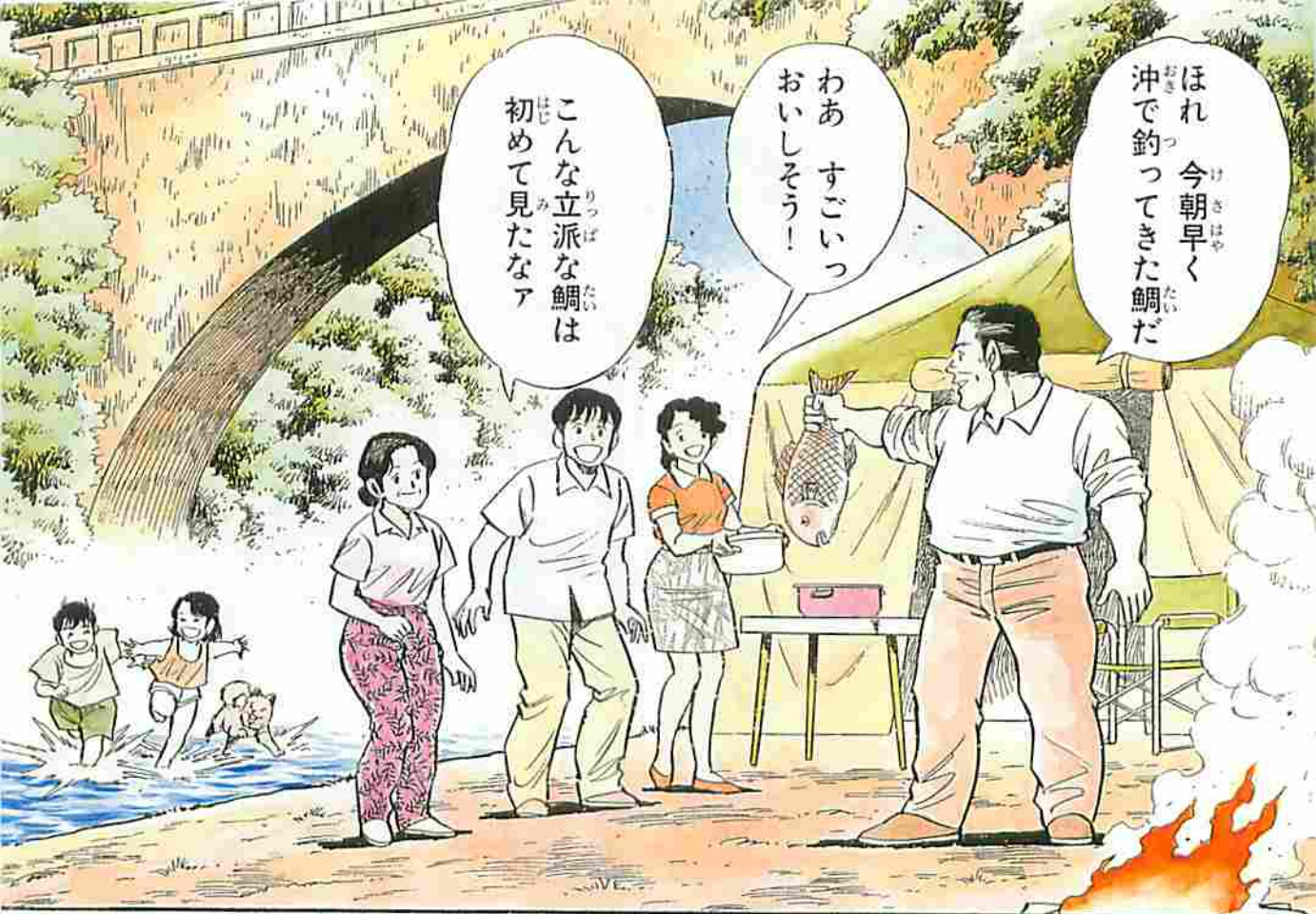
- ← 日本軍の進路
- ← 連合国軍の進路
- 太平洋戦争が始まったところ(1941年)の日本の勢力範囲
- ⋯ 1942年の夏ごろの日本軍の最大侵出範囲

(国名や地名は当時のものです)

# 平和な夏







ほれ 今朝早く  
沖で釣ってきた鯛だ

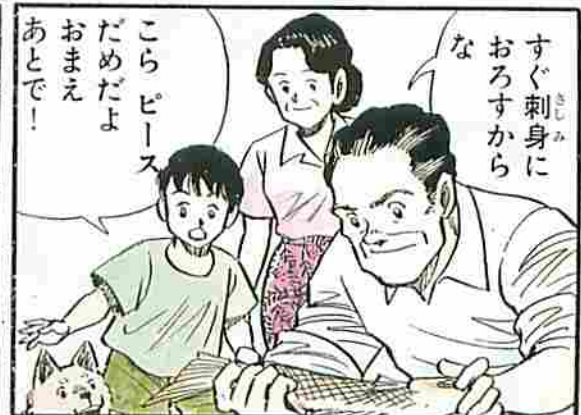
わあ すごいっ  
おいしそう!

こんな立派な鯛は  
初めて見たなア



昔わしが飼っていた  
犬はかわいそう  
だったんだぞ

ピースは  
幸せモンだ  
なア



すぐ刺身に  
おろすから  
な

こらピース  
だめだよ  
おまえ  
あとで!



戦争で……?

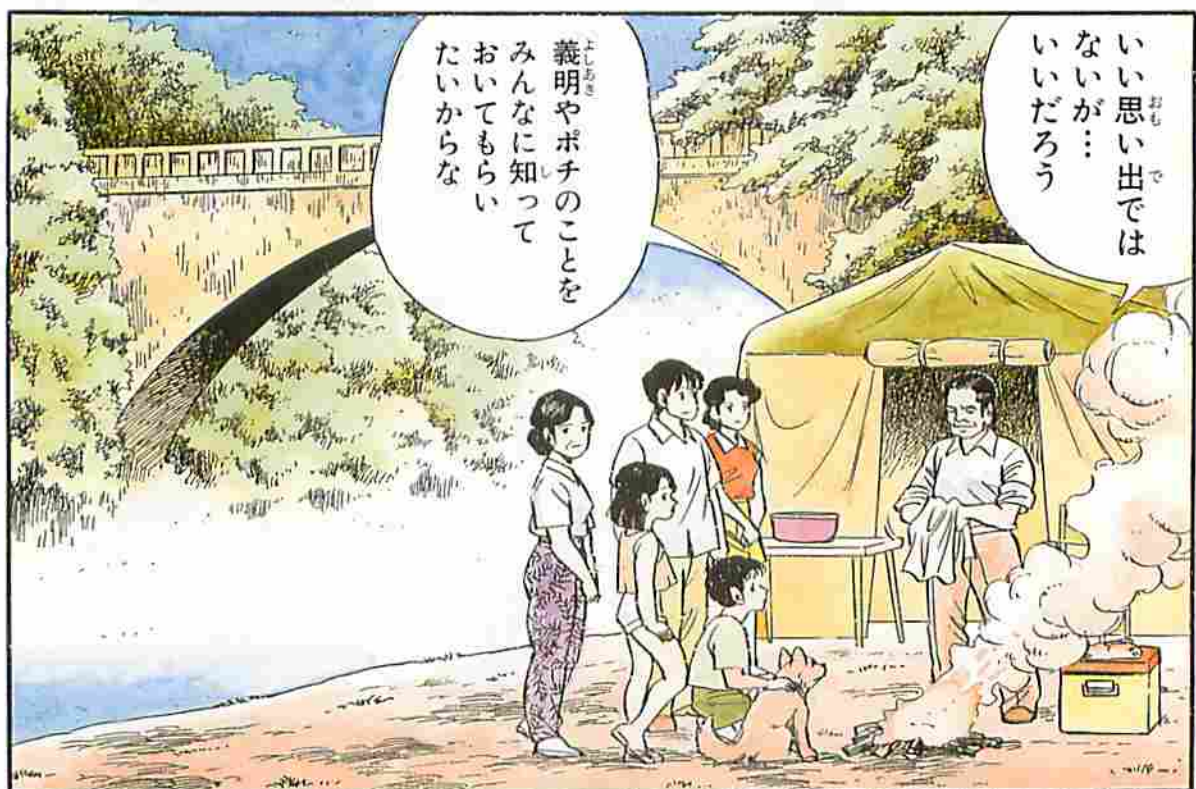


おじさん  
犬を飼ってた  
の?

ああ…ポチと  
言っつてな

利口なやつだった  
が戦争で死んでしまっ  
たんだよ



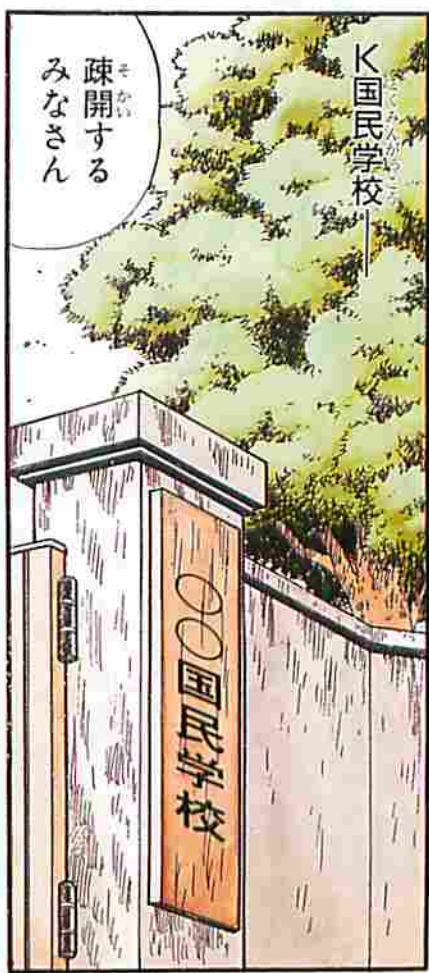
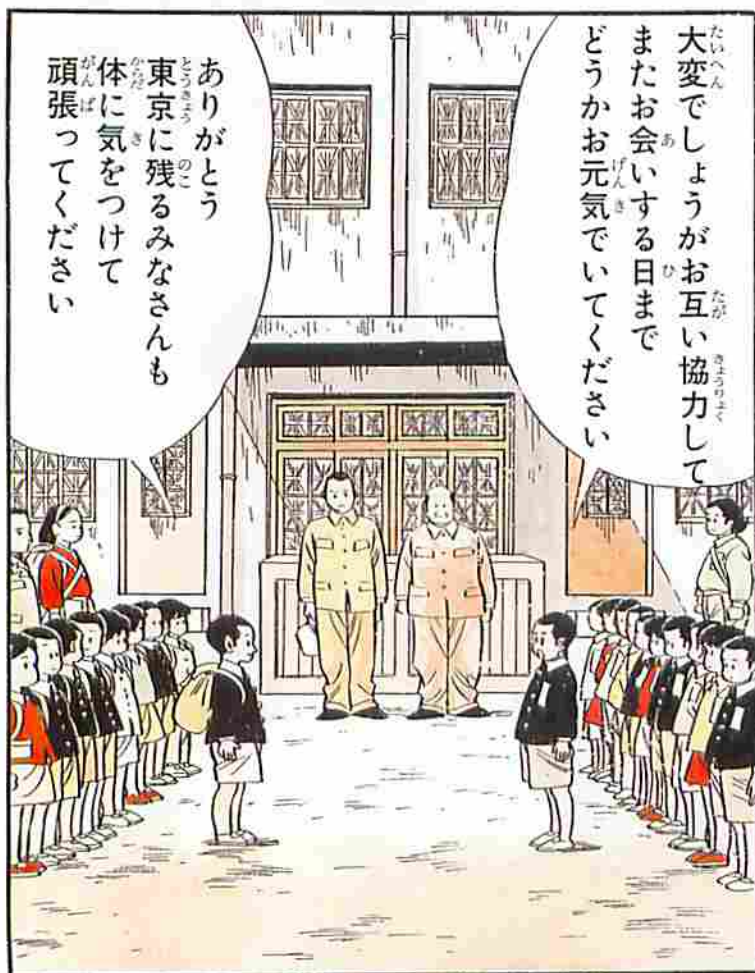
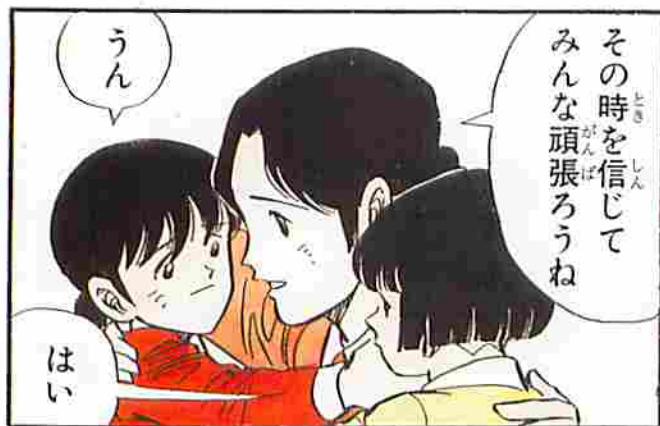




# さよならの季節







### 集団疎開の目的

昭和19年8月、文部省国民教育局長より関係地方長官に対し「学童集団疎開における教育要綱」という文書が渡されました。

そこにはこの集団疎開が子どもたちの戦意を高め、太平洋戦争に絶対勝つという信念を育てること。心とからだを強くたくましくすること。集団生活におけるしつけをキチンとすること。勉強ができて、行いも正しい学童をつくる教育を実現することなどが書かれていました。

ここからは、学童疎開を単に戦争の危険から逃れるためだけに終わらせることなく、この集団生活によって、心身をきたえるための教育の場としたい、という当時の文部省の考え方をみる事ができます。











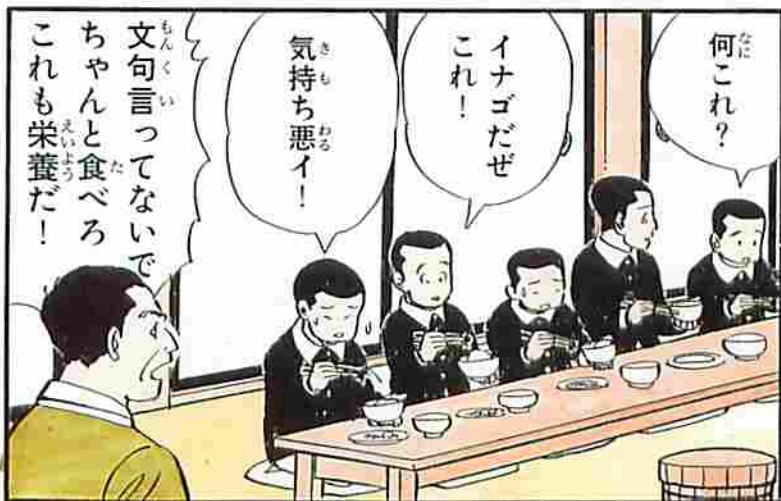
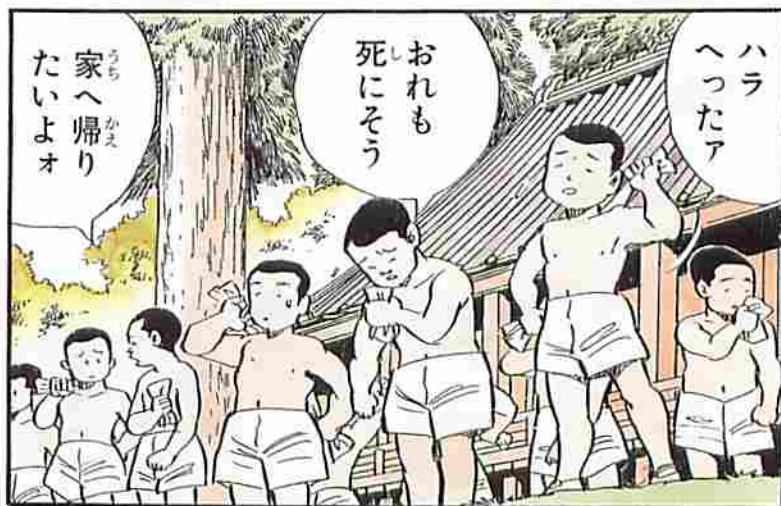
**疎開が  
指定された都市**

昭和19年6月30日に「学童疎開促進要綱」が閣議決定されると、学童疎開のようすが全国的に大きく変わりました。個人の判断でできた縁故疎開から国から強くすすめられる集団疎開へと、流れが一変したのです。

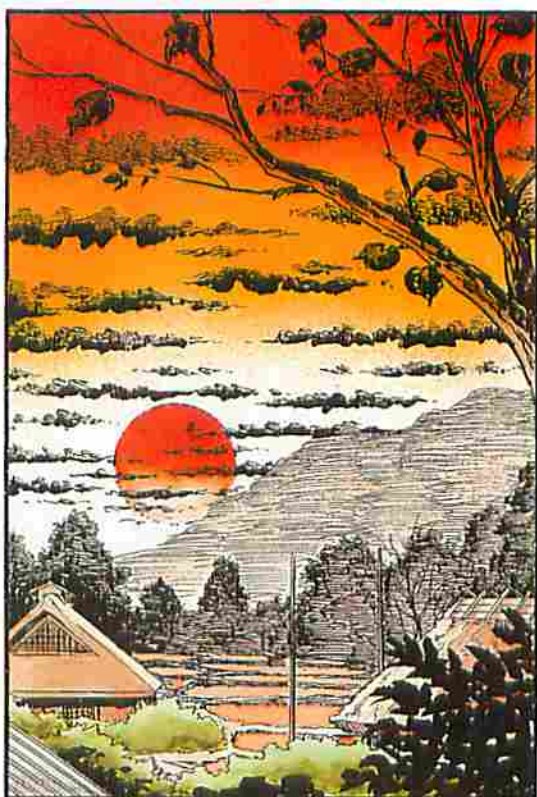
そのためにまず東京都の学童を対象としていた集団疎開は、横浜、川崎、横須賀、名古屋、大阪、神戸、尼崎、門司、小倉、戸畑、若松などの各都市に広がり、東京を含む各都市で合計40万人の学童疎開が計画されました。

その後これらの都市のほか、京都、舞鶴、広島、呉が新たに集団疎開都市に加えられ、昭和20年4月には約45万人の学童が全国約7,000か所に集団疎開していったといわれています。









**疎開地での食事**

集団疎開児童の食べものについて「帝都学童集団疎開実施細目」という文書には、たとえば主食は、疎開計画の進み具合を見ながら、東京都分から受入県分に割り当てて集団疎開学童用とする、また副食類はできるだけ地元で調達することと書かれていました。

これを見ても想像できるように、戦いが深まるにつれ疎開学童たちは順調に配給が受けられず、学童みずから畑などで食べ物づくりに協力したり、山菜をはじめ自然の恵みの確保に汗を流さなければなりません。食べざかりの子どもたちには、とても苦しい毎日でした。

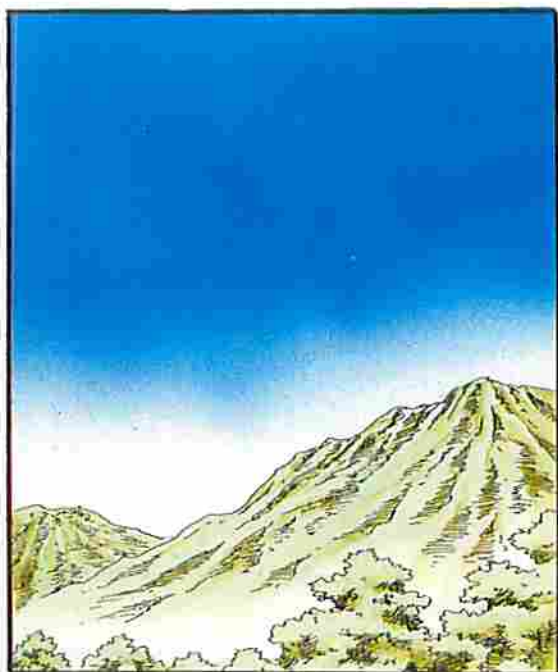




あんまり  
騒ぐんじや  
ないぞ

魚が逃げて  
しまうから

今夜のおかず  
なるんだよね



あそこの  
ウズまいてる  
とこだ

やってみな



おまえ  
そんなとこじや  
釣れねえぞ



**疎開地での日課①**  
 集団疎開児童たちが住んでいたのは、おもに寺院や旅館や公民館など広い部屋のある場所でした。そこは「寮」とよばれ、児童たちはここを生活の場として、地元の国民学校の校舎を借りて二部制の授業を受けたり、あるいは地元の学級に入って授業を受けたりしました。  
 また「帝都学童集団疎開実施要領」に書かれているように、児童たちは、農業や漁業の手伝いからお茶つみ、まきひろい、さらには松根油づくりやイナゴとりといったまで、体力に合った仕事をすることによって、地元の労働力の一部となつてがんばっていました。





やったア!



だろ

あつ  
ほんとう  
本当にきた!



おれは  
とめきち  
留吉だ

ありがとう  
おれ幸吉って  
言うんだ



やまこ  
大和ってんだ

ああ  
でっかいのが  
いるぜ

おれも東京に  
飼っているんだ  
ポチっていうんだ



おまえ今度  
おれんちに  
遊びにこい

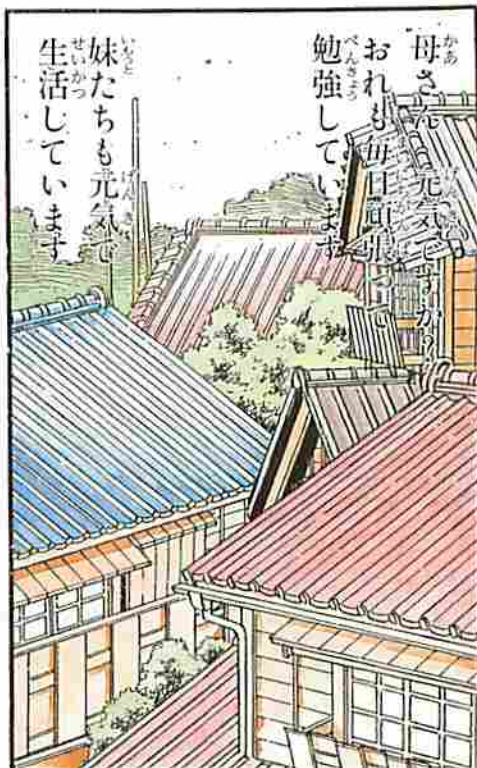
いいの?  
犬もいるかい?



- 8 7 6 5 4 3 2 1 12 11 10 9 8 7 6 5
- ▼ 起床・寝具整理・点呼・乾布摩擦、洗面・清掃作業・整理整頓
  - ▼ 朝礼（御歌奉唱・散歩）
  - ▼ 朝食
  - ▼ 登校（登校準備・服装検査）
  - ▼ 学科・教科科履成・礼法訓練（各種訓練実施）
  - ▼ 昼食
  - ▼ 実科・各種訓練・勤労奉仕・水泳・魚釣り・武道・農家手伝い・登山
  - ▼ 自由時間・自由行動・洗濯・整理整頓・清掃作業
  - ▼ 夕食（食事作法訓練）
  - ▼ 入浴・勤行・入浴・自習
  - ▼ 就寝（点呼・御製奉唱・精神講話・就寝用意）・8時消灯

**疎開地での日課②**  
これは名古屋のある学校の1日です。他の学校も同じような日課でした。





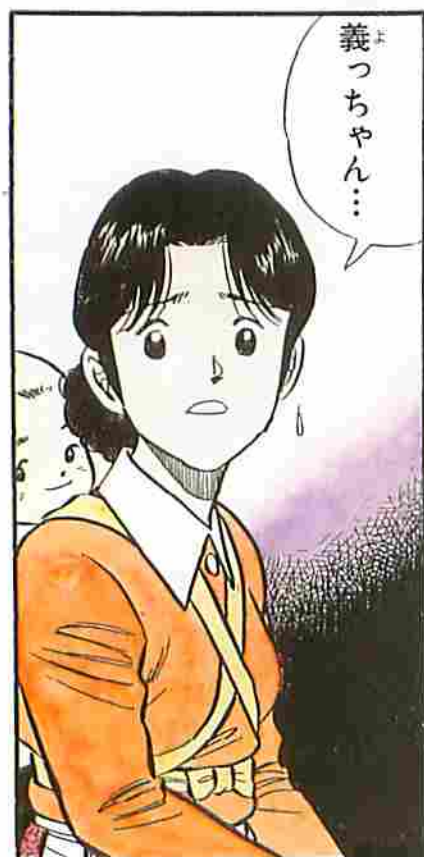
**集団疎開と健康**

当時の学童は、ほとんどが栄養不足からくる内臓や呼吸器系の疾患に悩まされていた。またノミやシラミがはびこっている共同生活は、ひとつ間違えば伝染病の発生の恐れが多い状況にもありました。

これに対して地元の医師たちは、病気を防ぐと懸命に努力しましたが、医療薬品が家庭の常備薬でないもので、ただただ入浴と洗濯を指示する以外に病気を発生を防ぐ方策がないというありさまでした。

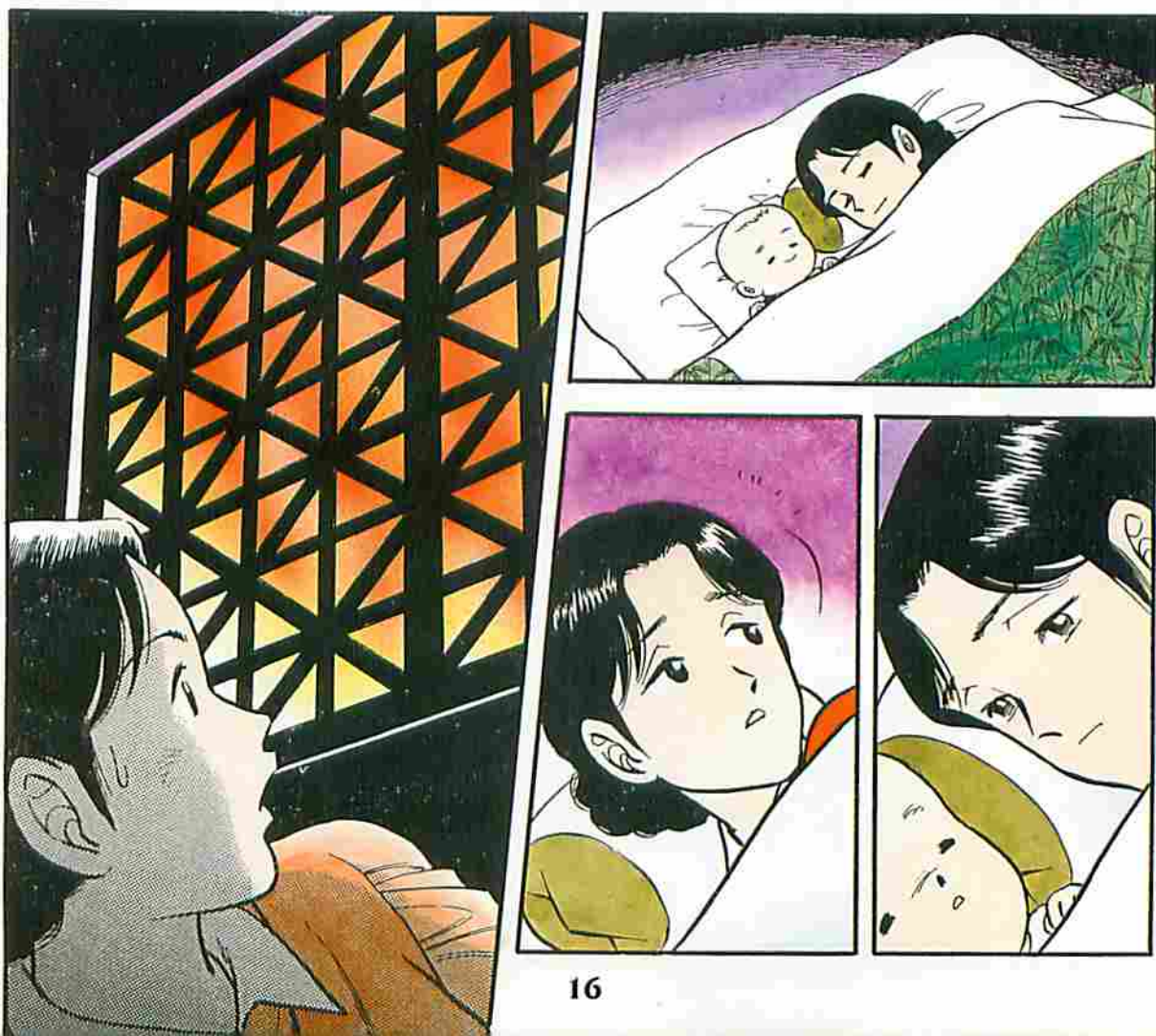
こうした見知らぬ土地での病気に対する恐れは、幼い疎開学童たちの身体はもちろん、その心までも蝕んでいくことになりました。







一九四五年未明







あついよオ

きやああつ





早く  
逃げなく  
ちや!



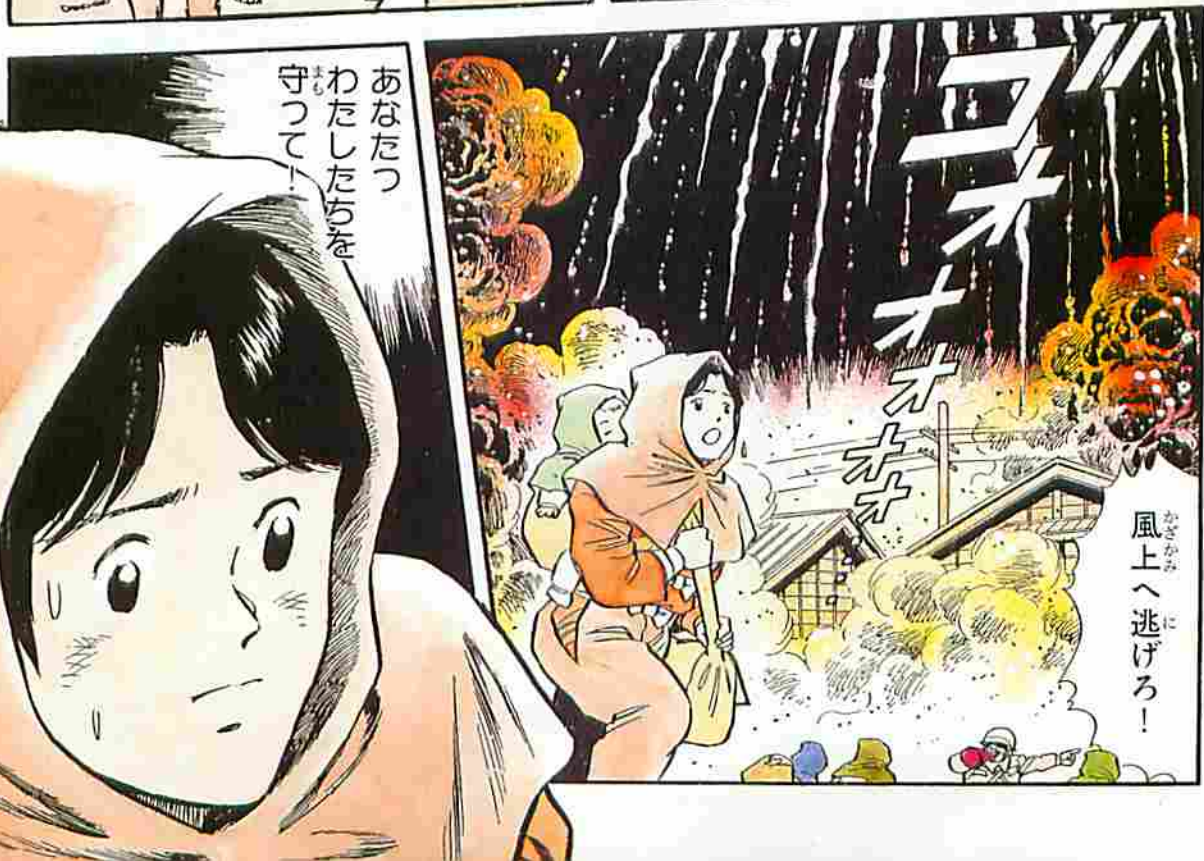
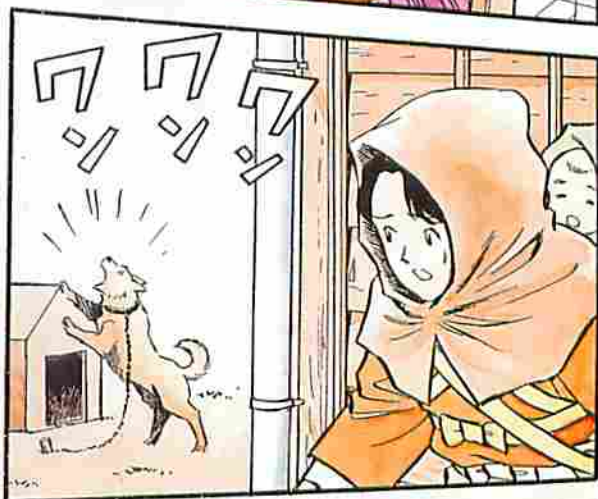
あんなに  
B29が...!

大変!



ポチっ  
さあ逃げなさい

空襲が終わったら  
必ず戻って  
くるんだよ!

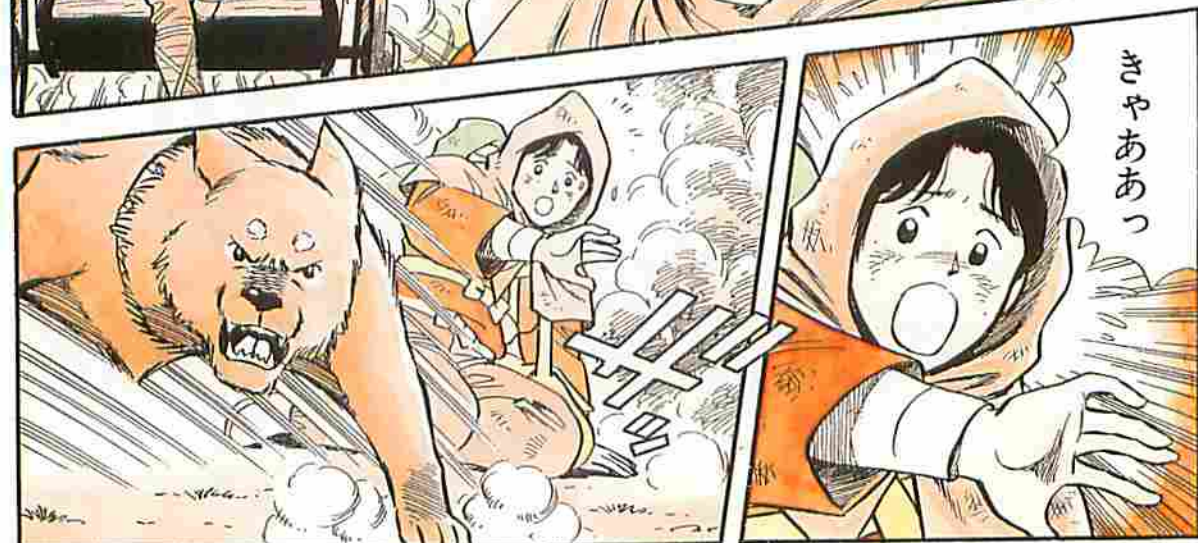
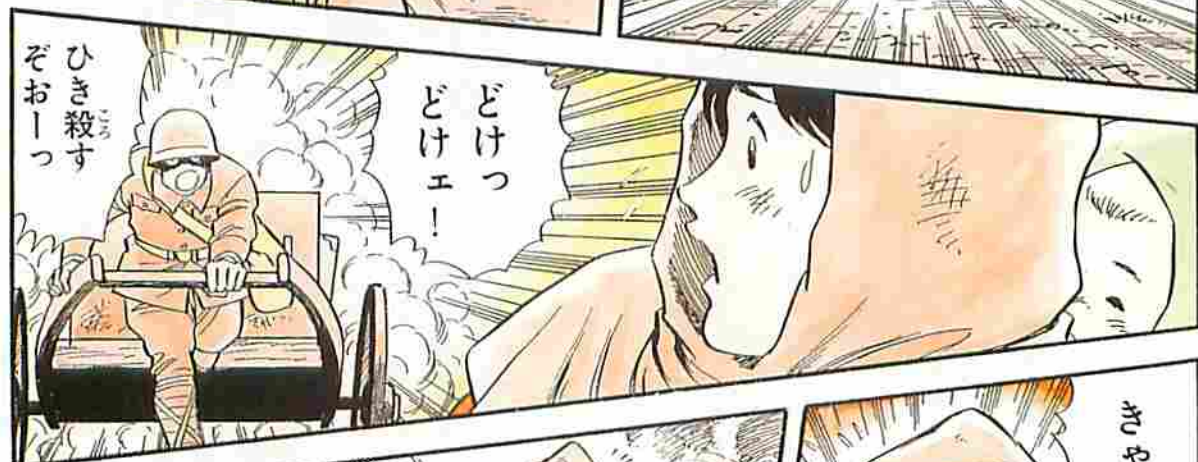
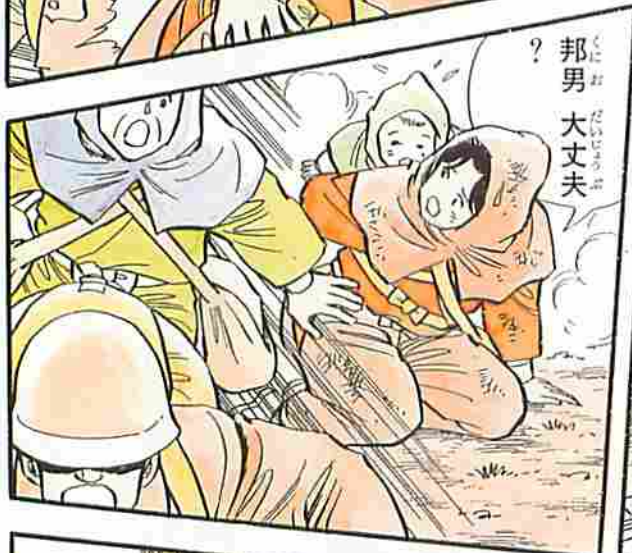
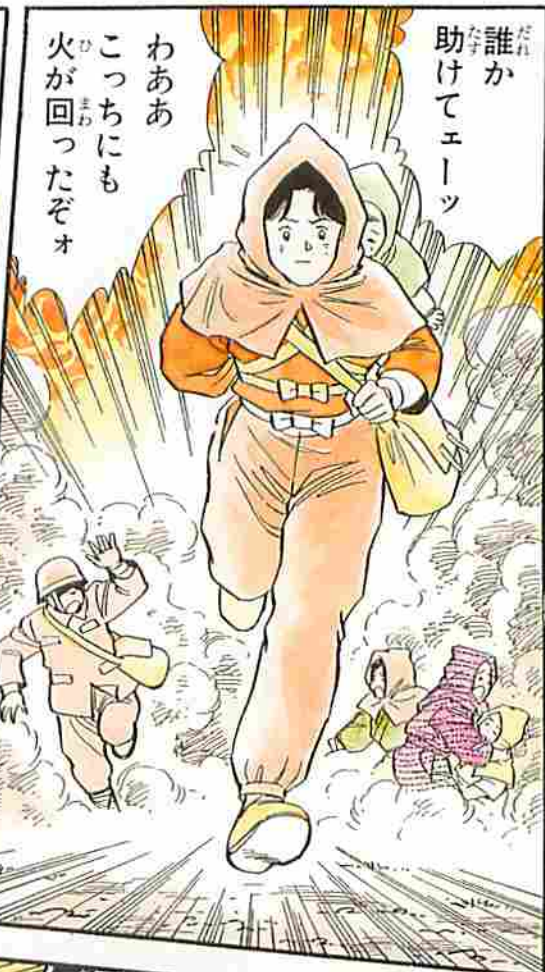


あなたつ  
わたしたちを  
守って!

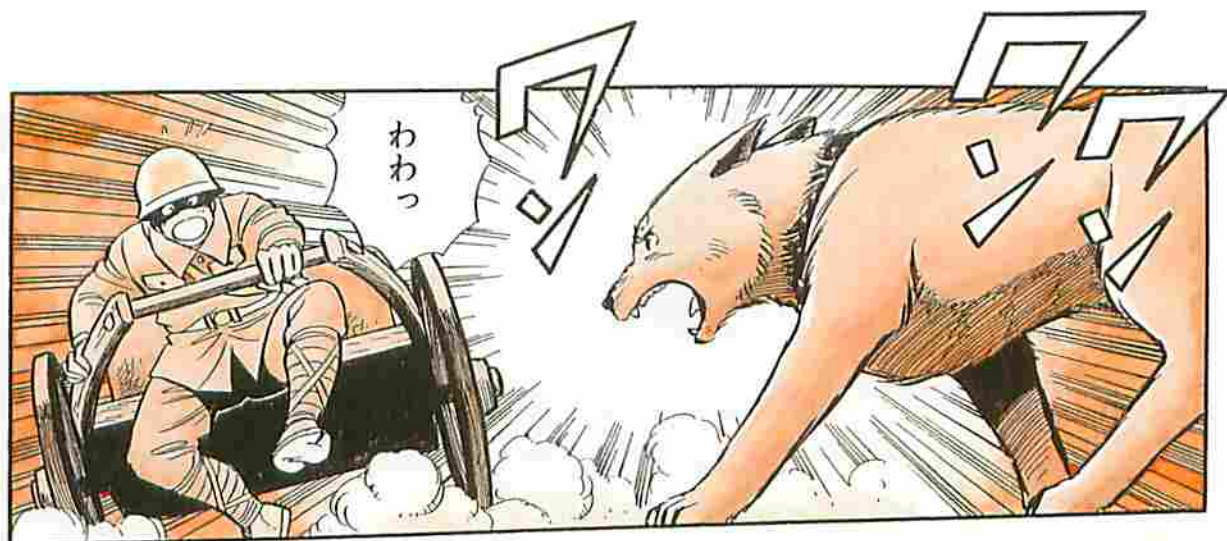
ゴッ  
オオオオ

風上へ逃げろ!









わわっ



あありがとう  
ポチ…  
助けてくれた  
のね

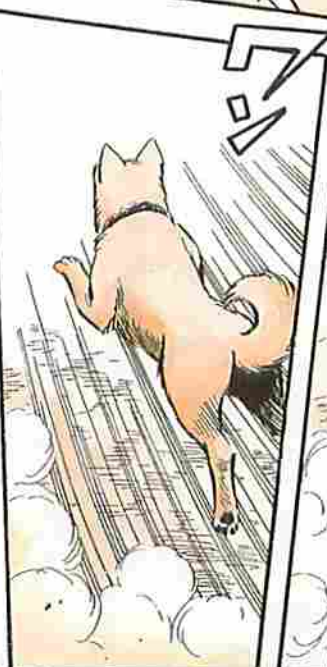


なんんだ  
あのバカ犬め



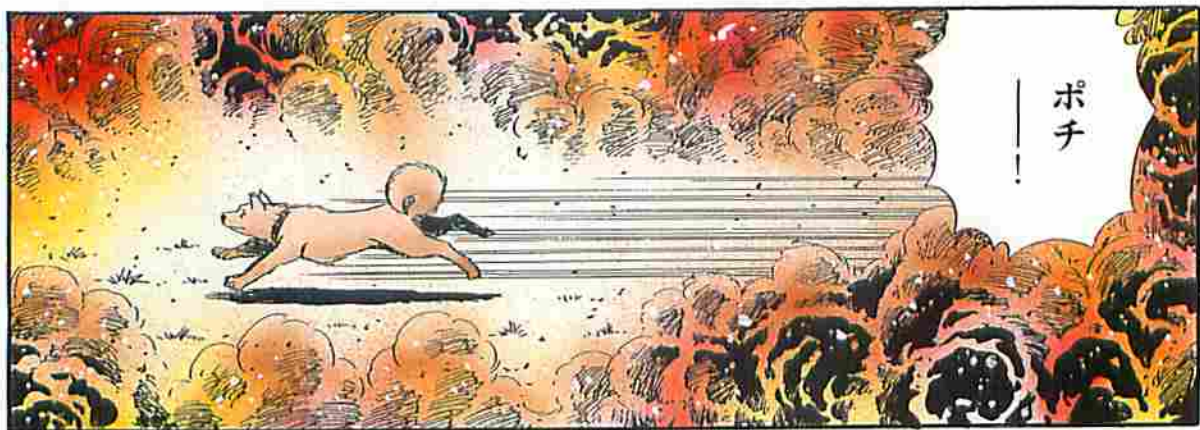
どこへ行くの!?

ポチ!?



さあ一緒に  
逃げよう!





ポチ



ばかっ  
情けないこと  
言っつてんじやない  
立ちなさいっつたら!

母ちゃんおれ  
足が動かない



義明っ  
立つのよ!

ここにいたら  
死んじまうん  
だよ!



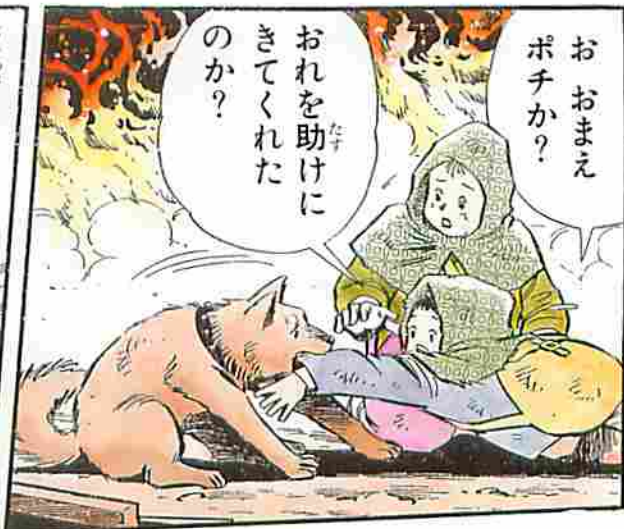
おれ動けないよ  
母ちゃん  
逃げてくれっ  
何言っつてんだ  
おまえそれでも  
男か!!





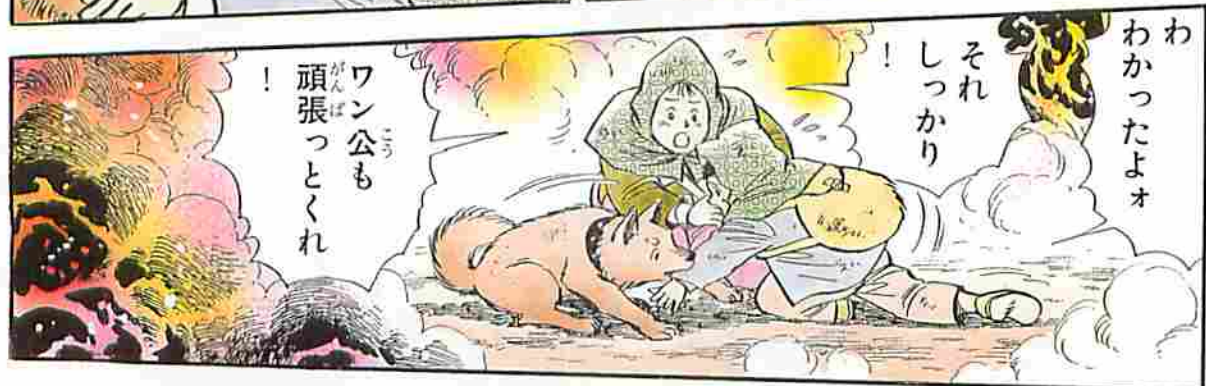
はってでも  
逃げるんだよ!

義明よしあきつ  
犬いぬでもおまえを  
助けようとして  
きてくれたんだ



お おまえ  
ポチか?

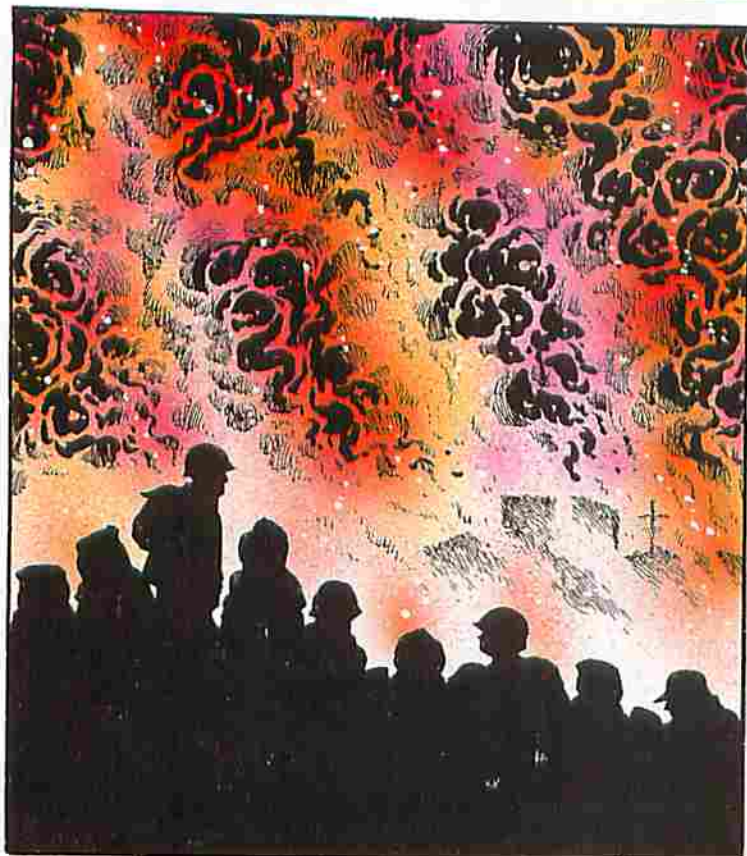
おれを助けに  
きてくれた  
のか?



わ  
わかったよオ

それ  
しつかり  
!

ワン公わんこうも  
がんば  
頑張がんばつとくれ  
!











熱いーっ

水だ  
水をくれエ

川だ  
川に飛び込めっ



だめだっ  
そっちに行ったら  
川に入っても  
助からんぞ!!

戻れっ  
戻らんのだ!



奥さん  
川に入ったら  
その子も助かり  
ませんよ!

ほっといてよ

火の中より  
水の中のほうが  
安全に決まっ  
てるでしょ!



川に入っても  
炎にまかれりや  
酸欠でやられる  
んだ!

それが  
わからんのか!



お若いの  
早く逃げんと  
わしらも炎に  
まかれちまう

彼らは止めよう  
がない  
わしらだけでも  
逃げよう



### B29と空襲

太平洋戦争で東京を焼きつくした主役は、B29という当時としてはまったく新しい大型爆撃機でした。この飛行機は全長が30メートル、最大時速も576キロという、当時としては想像もつかないほどのスケールをもっていました。

しかしアメリカはこのような強力な武器をもったことだけに満足せず、爆撃の前には一機のB29を目標の都市に飛ばして写真を撮ったりして、絶対に失敗しないための作戦をとりました。これが太平洋戦争におけるアメリカ軍の戦いぶりです。結局東京はこの作戦によって徹底的に焼きつくされてしまったのです。







やがて夜が明けるとこの  
猛火もおさまった……



巨大な炎に  
襲われて死んだ

律子ちゃん一家は  
空き地に避難した

だが背負っていた  
二男の邦男は大やけどで  
二日後に死んだ

わしらの母さんは  
どうやら  
生き残ったんだ……



舟勢の火々が  
無残に死んでいった

川に飛び込んだ  
人々は息がきず  
あまれて死んだ





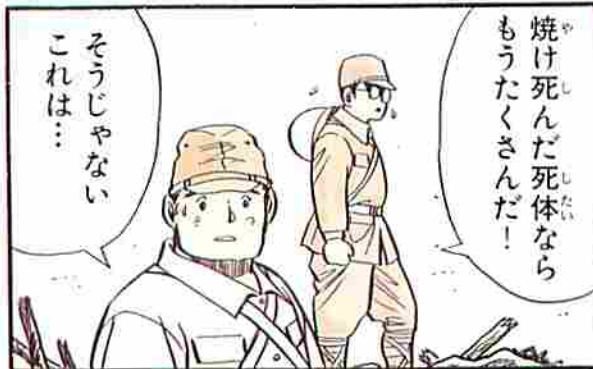


そして  
義明母子と  
ポチだけは…

おい  
見ろよ



こりやいったい…  
どういうことなんだ？



焼け死んだ死体なら  
もうたくさんだ！

そうじゃない  
これは…



## 東京大空襲

1945年（昭和20年）  
3月10日午前0時8分。「東京大空襲」とよばれる首都壊滅作戦がはじまりました。このとき米襲撃したB29は、日本側資料では約130機、アメリカ側資料では334機といわれています。

超低空で東京上空に侵入したB29は、墨田・江東地区に焼夷弾を次々と降らせ、ことごとく焼き尽くしました。空襲警報は午前3時20分に解除されましたが火の手はいっこうにおさまらず、ようやく火の勢いが落ちついたのは午前6時すぎだったといわれています。

その時生き残った人が見たものは、一面の焼け野原と隅田川や運河、学校、寺、公園などに折り重なるように倒れている無数の黒いげの死体でした。この日の死者83,793名、負傷者40,916名。何と合計12万5千人にもおよぶ死傷者（警視庁調べ）が出たといわれています。しかしこの数字も混乱した中でこのこと、正確なところはわかっていません。



ポチは義明さんが好きだったんだなア

自分だけで逃げずに  
最期まで人間を助けようと  
したなんて…

立派な犬だったんですね  
ポチは…



戦争は立派な人も優しい人も  
かけがえのない人々を奪っていくんだ

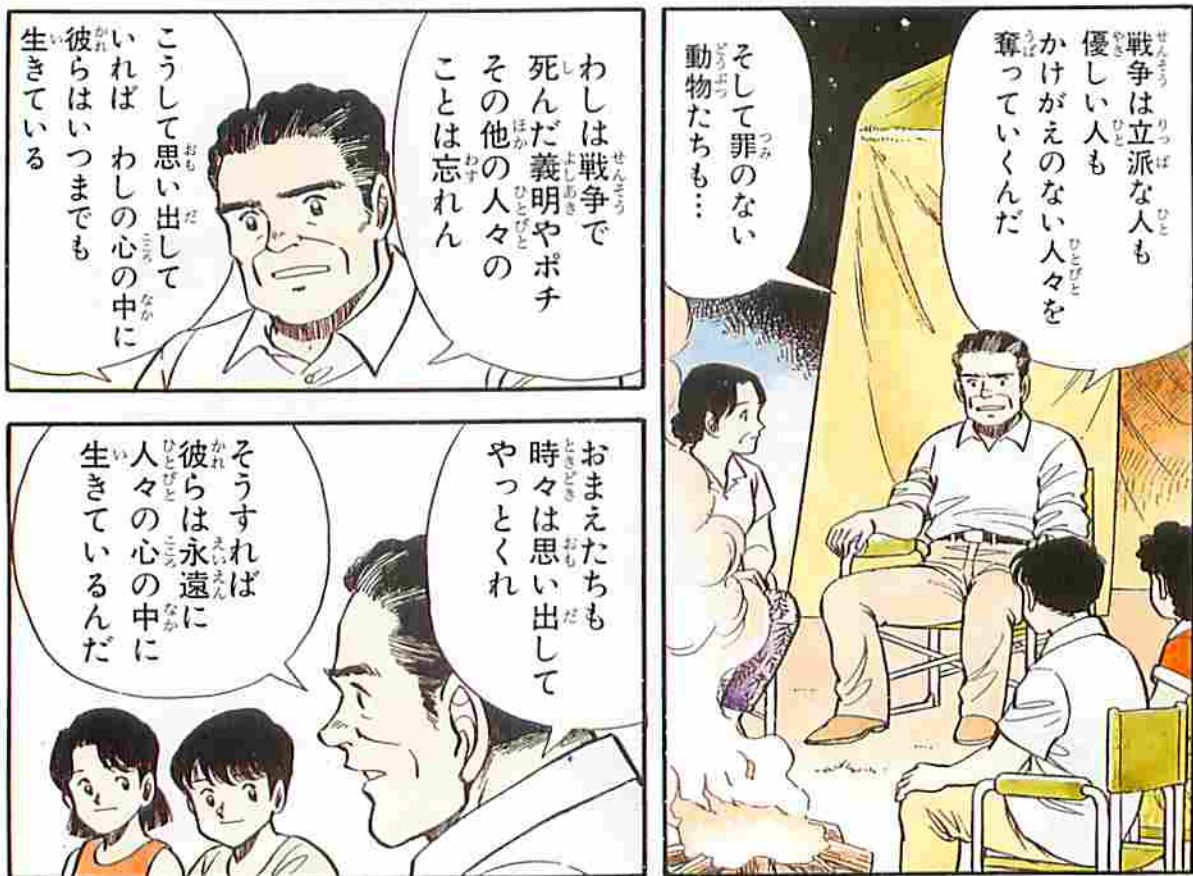
そして罪のない動物たちも…

わしは戦争で死んだ義明やポチ  
その他の人々のことは忘れん

こうして思い出して  
いれば わしの心の中に  
彼らはいつまでも  
生きている

おまえたちも時々思い出して  
やっとなくれ

そうすれば  
彼らは永遠に  
人々の心の中に  
生きているんだ













# おもなできごと

- 1931年 昭和6年** 満州事変が起こる。  
このころから軍人が力をもち始める。
- 1932年 昭和7年** 5・15事件、海軍の将校らが犬養毅首相を暗殺する。  
政党政治が終わり、さらに軍人の力が強まる。
- 1933年 昭和8年** 日本は国際連盟を脱退。
- 1936年 昭和11年** 2・26事件、陸軍の青年将校たちが高橋是清蔵相らを暗殺する。
- 1937年 昭和12年** 日中戦争が始まる。  
民主主義や自由主義の思想への弾圧が始まる。
- 1938年 昭和13年** 国家総動員法の制定で総力戦体制が強まる。
- 1940年 昭和15年** 日独伊三国同盟が結ばれる。
- 1941年 昭和16年** 小学校が国民学校と名前が変わる。  
日本の海軍がハワイの真珠湾を攻撃する。太平洋戦争が始まる。
- 1942年 昭和17年** アメリカ軍機が日本をはじめて空襲する。  
日本の艦隊、ミッドウエー海戦でやぶれる。  
もの不足のために配給制度が強められる。
- 1943年 昭和18年** ガダルカナル島の日本軍が撤退を始める。  
中学生以上の学生や女学生が武器をつくる工場などで働かされる。  
大学生も学業のとちゅうで戦地に行くようになる(学徒出陣)。
- 1944年 昭和19年** 大都市では国民学校の子どもたちの集団疎開が始まる。  
サイパン島の日本軍が全滅する。
- 1945年 昭和20年** 東京などが大きな空襲にあい、焼け野原になる。  
広島・長崎に原子爆弾が落とされる。  
日本、ポツダム宣言を受け入れて降伏する。



# 空襲にあった町

1942年(昭和17)の4月から戦争が終わった1945年(昭和20)の8月までのあいだ、日本国内の以下のような場所が空襲にあいました。ひとつの場所で何回も空襲にあった町もあります。このほかにも規模の小さなもの、軍の施設が爆撃されたものなど、実際にはもっと多くの空襲がありました。この空襲で50万以上の人が亡くなりました。

- 北海道  
旭川市  
室蘭市  
釧路市  
帯広市  
根室市  
本別町
- 青森県  
青森市
- 岩手県  
盛岡市  
花巻市  
釜石市
- 宮城県  
仙台市  
石巻市  
塩竈市
- 秋田県  
秋田市
- 山形県  
山形市
- 福島県  
郡山市  
いわき市
- 茨城県  
水戸市  
日立市
- 栃木県  
宇都宮市  
足利市  
真岡市  
田沼町
- 群馬県  
前橋市  
高崎市  
桐生市  
伊勢崎市  
太田市
- 埼玉県  
川越市  
熊谷市  
川口市
- 千葉県  
千葉市  
銚子市  
船橋市  
館山市  
木更津市  
松戸市
- 東京都  
区部  
八王子市  
立川市
- 神奈川県  
横浜市  
川崎市  
平塚市  
藤沢市  
小田原市
- 新潟県  
新潟市  
長岡市
- 富山県  
富山市
- 福井県  
福井市  
敦賀市
- 山梨県  
甲府市
- 長野県  
長野市  
上田市
- 岐阜県  
岐阜市  
大垣市
- 静岡県  
静岡市  
浜松市  
沼津市  
清水市  
磐田市
- 愛知県  
名古屋市  
豊橋市  
岡崎市  
一宮市  
瀬戸市  
豊川市
- 三重県  
津市  
四日市市  
伊勢市  
桑名市  
上野市  
鈴鹿市
- 滋賀県  
大津市
- 大阪府  
大阪市  
堺市  
豊中市  
高槻市
- 兵庫県  
神戸市  
姫路市  
尼崎市  
明石市  
西宮市  
芦屋市  
伊丹市  
相生市
- 和歌山県  
和歌山市  
海南市  
有田市  
御坊市  
田辺市  
新宮市  
串本町
- 鳥取県  
米子市  
境港市
- 岡山県  
岡山市
- 広島県  
呉市  
福山市
- 山口県  
下関市  
宇部市  
山口市  
徳山市  
防府市  
下松市  
岩国市  
小野田市  
光市
- 徳島県  
徳島市
- 香川県  
高松市
- 愛媛県  
松山市  
今治市  
宇和島市  
八幡浜市  
西条市
- 高知県  
高知市
- 福岡県  
北九州市  
福岡市  
大牟田市  
久留米市
- 長崎県  
佐世保市  
島原市  
諫早市  
大村市
- 熊本県  
熊本市  
荒尾市  
宇土市
- 大分県  
大分市  
別府市  
中津市  
日田市  
佐伯市
- 宮崎県  
宮崎市  
延岡市  
日南市
- 鹿児島県  
鹿児島市  
川内市  
串木野市  
阿久根市  
出水市  
指宿市  
国分市  
西之表市  
垂水市  
喜入町  
山川町  
頰娃町  
知覧町  
東市来町  
東郷町  
始良町

◎昭和45年3月内閣総理大臣官房管理室編『全国戦災実史調査報告書』

●この物語は戦争の悲惨さを次の世代に伝えるために、事実に基づいて制作したフィクションです。したがって、この物語に登場した人物や団体などは実在しません。

写真: ©毎日新聞情報サービスセンター





この本を読んで、感想や作文をお寄せください

社団法人 日本戦災遺族会

〒102-0083 東京都千代田区麹町1-3 山京ビル4F TEL. 03-3264-5287

1999.3